

令和2年度 卒業証書授与式について

立春が過ぎ、徐々に暖かい日が増えてきたように思います。例年はインフルエンザが流行する季節ですが、今年度は本校でインフルエンザにかかった生徒は1人もいません。マスク、手洗い、換気などの感染症予防の成果ですね。コロナに対してまだまだ油断できませんが、予防の徹底を続けたいと思います。



3年生進路相談の様子

さて、3年生は卒業後の進路に向けて、私立高校入試、県立高校前期選抜が終わったところです。来週16日、17日の三者懇談会を経て、県立高校後期選抜の出願準備が始まります。いよいよ大詰めです。1、2年生は24日～26日に学年末テストです。1年間の総括なので頑張してほしいと思います。

そして、**3月8日(月)は卒業式**。例年ですと卒業生(3年生)と保護者、来賓、在校生(1、2年生)、教職員が出席し行われますが、今年度はコロナ感染予防のため、**出席者は、卒業生(3年生)、保護者、市長代理、教職員**となり、来賓の参加はなし、在校生からは代表者1名(送辞)のみ、**1、2年生は出席しません**。よって、1、2年生は自宅学習となります。(出席扱いとなります。)

そこで、**3年生保護者の皆様へ**

市教育委員会から卒業式を行うにあたり、感染防止の観点から「出席者を必要最小限にすること」、「式の時間を可能な限り短縮すること」という指示があり、本校としては、上記の通り出席者を限定しました。さらに、式中の卒業生合唱については、舞台上がるのではなく、自分の席でマスクを着用して歌うことにします。有志による合唱も今年度は有志合唱団が結成されていないのでありませんが、そのかわりに3年生全員で2曲歌います。



また、例年ですと、卒業式終了後、保護者の皆様も卒業生とともに教室に入っていますが、教室内で密になることを避けるため、昨年と同様に体育館でお待ちいただくこととなります。(体育館では3年生の“思い出ビデオ”を上映する予定です。)したがって、生徒、保護者が自由に写真撮影等をしていただくのは、すべてが終了した後、校舎外でということになりますのでご承知ください。

なお、写真撮影の際には十分にお気をつけください。万が一、参加者からコロナ陽性者が出た場合、マスクをせずに接触した人は濃厚接触者として認定されることがあり、その場合、たとえ濃厚接触者の検査結果が陰性であっても2週間の自宅待機となります。会話等により飛沫が飛ばないように、くれぐれもご注意ください。

【裏面もご覧ください】

生徒1人1台タブレットが整いました

令和元年12月に文部科学省から、“ギガスクール構想”が発表されました。これは、仕事でも家庭でも、社会のあらゆる場所でICT（情報通信技術）の活用が日常となっている今、学校が時代に取り残されてはいけません。ということで、例えば、学校でも生徒1人1台端末を導入するなど、令和2年度から3年間をかけて日本中の学校でこれを達成するということでした。

ところが、令和2年に入ってすぐにコロナの感染が拡大し、学校は臨時休校となりました。そこで、3年間かけての“ギガスクール構想”を前倒しすべきということで、全国の学校がわずか1年間でこれを達成することになりました。

四日市市内の中学校では、先日、すべての生徒に1人1台タブレットの配備が完了し、各教室にプロジェクタセットが、また、校内でWi-Fiも使えるようになりました。

さっそく先日の大池中学校区人権フォーラムでは、本校1年生代表と大池中学校区の小学校（三重小、県小、三重北小）6年生が、Zoom（オンライン会議ツール）により、それぞれの児童生徒が学校にいながら人権について話し合うといったことをしました。今後、学校ではICTをいかに効果的に活用するかということに取り組んでいきます。



ちょうど1年前の“学校だより”で「なんと4年後には全校児童生徒に一人一台タブレットが入るようです。」と書いたのに、まさか1年で達成するとは……。



上の写真は、2年生の数学の授業で、タブレットを使っている様子です。ネットから自分がやりたい問題プリントを探して解いている生徒、わからない数学用語について検索している生徒、電卓として使っている生徒など、自分で考えてタブレットを使っています。

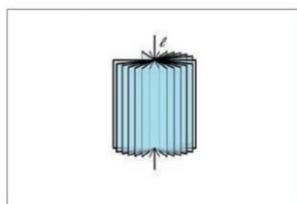


面を回転させてできる立体

●1年 みんなで学ぼう編 p.196



紙面では表現できない面の動きを、アニメーションで確認できます。



来年度、中学校の教科書が新しくなります。左は数学の教科書の一部ですが、QRコードがあり、各自がタブレットで読み取ることで、動画などが見られるようになっています。